



アグリパークは和光市の貴重な地域資源！  
みんなで作る「農あるまち」

発行：農業体験センター

和光生ごみ市民会議

代表山下良雄

〒351-0115 和光市下新倉 8-10-3

☎FAX048-465-1632

# アグリパーク便り

## 夏野菜、大収穫中！！



夏野菜の収穫がピークを迎えています。強い日差しの中、野菜がどんどん大きくなっていきます。同時に雑草も急成長。皆さん、対策に追われています。

この時期、市民農園ではたくさん野菜・花卉が見かけられます。日差しをたっぷり浴びて、野菜が大きくなっていく様子は、私たちに楽しみを与えてくれます。反面、雑草もどんどん伸びていきます。農業体験センターでは未契約の区画は、管理人による雑草撤去・マルチ貼りを行っています。市民農園がきれいになるように、日々努めています。

## JAあさか野主催 トウモロコシ・ジャガイモ収穫体験

JAあさか野主催のトウモロコシ・ジャガイモ収穫体験が6月30日(土)午前9時から農業体験センターで行われました。当日は晴天に恵まれ、約180人の参加者がありました。



収穫後の試食用にトウモロコシの皮むきを全員で行った後、収穫へ畑に向かいました。戻ってくる参加者の手には、いっぱいのお土産がありました。試食では、甘い！おいしい！という声があちらこちらから聴かれ、満面の笑みがこぼれていました。

## 市民農園の皆様対象 ☆景観立毛品評会開催中☆

いい野菜を作るためには、いい環境作りから！！  
をコンセプトに景観立毛品評会を行います。

- 審査期間：7月下旬～10月初旬
- 審査結果発表：10月のイベント「アグリパーク秋の農まつり」で表彰します。
- 詳しくは、センター前掲示板をご覧ください。

**景観立毛品評会開催**

各農園(第1農園～第10農園)および個人区画を、秋まつり(10月開催予定)で表彰します！！

いい野菜作りは、いい環境作りから！！景観立毛品評会を開催します。景観立毛品とは、農園の景観を良くするための取り組みです。景観立毛品評会では、各農園の景観立毛品を審査し、表彰します。

■審査期間：2012年7月下旬～10月初旬

■審査対象：①各農園(第1農園～第10農園) ②個人

■審査員：アグリパーク管理人および関係者

■表彰日：農業体験センター秋まつり(10月開催予定)

※お問い合わせ：農業体験センター ☎FAX: 048-465-1632

## 5・6・7月の農あるくらしサロン

- さつまいも植付け収穫体験 5月26日(土)  
アグリパーク隣地の市有地での初めての体験。台風、カラス、雑草取りなど育成管理をしています。天候次第の出来具合は如何か収穫が待ち遠しいです。
- 農あるくらしサロン家庭菜園・市民農園で10倍楽しむ栽培方法 5月16日(土)開催しました  
庭先販売を営む埼玉県農業女性アドバイザーの富澤登紀子さんによるお話は、スライドを使い、20hの農園に年間100種類に及ぶ消費者ニーズに対応する栽培は食する楽しみは増えます。農園の野菜を試食しながら談話は交流サロンでした
- 秋冬野菜づくりの準備のために7月21日(土)  
有機農業家の清水誠市氏による、秋冬野菜の作付方法、小さな農園でも区画整理をして栽培記録をまめに付けることが第一という事でした。

## 有機農業家ベジタランド清水・清水誠市さん

有機農業を始めてもう20年超。ご多分に漏れず初期の頃は試行錯誤のやり方で、虫だらけの野菜を作り、捨ててしまったこともありましたが、この10年でノウハウも習得、さらに科学的な手法も取り入れて、勘頼りの有機農業から科学的な有機農業に進化し、今では本当に農業の必要としない有機農業に脱皮できた充実感があります。

2年前、私はアグリパーク周辺で、農家が年間スケジュールを作って農家の指導の下に作る農園が体験農園を開設しました。体験農園は、農園初心者でも農家の指導の下に作るので失敗するリスクが少ないメリットがありますが、自分勝手に作ることで、まず初期投資の入園料などが市民農園の利用料と比べると一桁高いことです。

しかし、必要な材料や種、肥料、苗、その他生産資材などは農家が用意します。生産資材も専門店から購入、プロが使う資材を使って作ることができるので、より安心感を得られます。体験農園は栽培していた農家自身の畑で作るので、畑の特徴をしっかりと踏まえていて、投入する肥料分もバランスよく投入でき、必要の無い肥料を入れないで済みます。

現在自分が運営している体験農園は、生活クラブの組合員向けでしたが、今年度からは和光市民にもオープンに参加していただいで新しい交流も生まれています。来年度は区画を倍に増やそうと考えています。

## フラワーメイト活動紹介

フラワーメイトは農業体験センターに付随する花壇の美化につとめると共に、花卉栽培ならびに装飾技術を習得し、広く市内に波及させることを目的としています。

現在維持・管理する花壇の種類により草花班、ハーブ班があり、それぞれ作業日が違います。

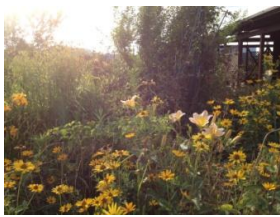
### ●草花班(毎週木曜日10時)

季節の草花の種まき、苗の植付け、植替え、球根の植付け、植替えなど。

### ●ハーブ班(毎週日曜日14時)

ハーブと季節の宿根草、海外の種から育てた珍しい植物の花リレーなど。

花の開花時期に合わせ、花壇から摘み取ったラベンダーでステイック作りや藍の生葉を使った染色なども行っています。是非、ご参加ください。



## ■ 農業相談は随時受け付けています。

市内農家・清水誠市氏による回答あり

## ■ 簡易パーベキュースペースあります。

定員：最大30名程度  
用具：お持ち込み(鉄板と網の貸出可)  
費用：無料  
問い合わせ：農業体験センターまで

## ■ 書籍を寄贈しませんか？

農業体験センターでは書籍の寄贈をお願いしております。主に農業・家庭菜園関連書籍、児童書、環境書などです。お気軽にお持ち込みください。

インターネットでアグリパーク情報を発信しています。ご覧ください。

HP: <http://wakoagripark-news.jimdo.com/>

Twitter: アグリパーク便り (@agripark\_news)

Facebook ページ: アグリパーク便り

「さつきちゃん」@和光市



## 8月のイベント

【収穫体験】冬採りじゃがいも植付け収穫体験  
真夏に植付けして真冬に収穫するじゃがいもは甘味があり格別です。

日時：8月18日(土)10時～12時

参加費：一口4株200円

申込締め切り：300株まで

【特別講座】アグリパークのビオトープ観察

農業体験センターにあるビオトープは人と自然が共生する貴重な生きもの資源です。講師にビオトープ管理士の三森典彰さんを迎えます。是非、参加してみませんか？

日時：8月29日(水)10時～

講師：三森典彰(ビオトープ管理士)

参加対象：親子(子どもは小学生以上)

定員：30名

持ち物：汚れてもよい服装・靴、帽子、飲み物

【その他】

10月中旬頃には5月に植え付けたさつまいも収穫体験があります。

※開催場所は農業体験センターです

お申込み先：農業体験センター

☎・FAX/048-465-1632